

事業コード	0040101	政策コード	09	政策名	自然環境の保全																																	
事業名	第2期湖沼水質保全計画策定事業	施策コード	04	施策名	八郎湖の水質保全対策の推進																																	
		指標コード	01	施策目標(指標)名	流域からの汚濁負荷の削減																																	
部局名	生活環境部	課室名	環境管理課八郎湖環境対策室	班名	企画・計画推進班	(tel)	8601632	担当課長名	室長 千葉 俊成	担当者名	松岡紳二郎																											
評 価 対 象 事 業 の 内 容																																						
1-1. 事業実施の背景(施策目標の達成のためになぜこの事業が必要であったのか) 八郎湖の長期ビジョンの達成に向け、「八郎湖に係る湖沼水質保全計画(第1期)」(計画期間:平成19~24年度)に掲げた対策の効果、課題等について検証を行い、平成25年度以降に実施すべき対策を盛り込んだ第2期湖沼水質保全計画を、平成24、25年度の2年間で策定する必要があった。																																						
1-2. 外部環境の変化及び事業推進上又は完了後に明らかになった問題点 八郎湖については、平成20年3月、湖沼水質保全特別措置法に基づく「八郎湖に係る湖沼水質保全計画(第1期)」を策定し、水質保全対策を講じてきた。第1期計画の計画期間が平成24年度までであることから、平成25年度以降の水質保全や水質目標を定める「八郎湖に係る湖沼水質保全計画(第2期)」を策定し対策を講じていく必要があった。第1期で主眼を置いている流域からの汚濁負荷の削減対策は、概ね順調に進捗している。																																						
2. 住民満足度の状況(事業終了後に把握したもの) 満足度を把握した対象 受益者 一般県民 (時期: H26年 05月) 満足度の把握方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の手法 (具体的に 県議会、市町村、市町村議会、住民からの要望) 満足度の状況 県議会や流域市町村長等から、対策を着実に進めるとともに、更なる湖内浄化対策の実施等について要望されている。また、流域の住民から、高レベルのアオコ発生に伴う苦情やアオコ対策等を求める要望が出されている。																																						
3. 事業目的(どういう状態にしたかったのか) 第1期計画の効果等を踏まえ、富栄養化の指標と成っているCOD、窒素及びリンの濃度を引き下げ、住民の利水や親水域としての利用に支障が生じないようにするための対策を盛り込んだ第2期湖沼水質保全計画を、平成25年度内に策定する。																																						
4. 目的達成のための方法 事業の実施主体 県 事業の対象者・団体 八郎湖流域の住民、市町村、事業者など 達成のための手段 湖沼の水質に関する研究者等の専門家を交えて、第1期計画の効果、課題の検証と、その結果を踏まえた第2期計画における水質保全対策の検討を行うとともに、水質の予測計算等を実施する。また、流域市町村において計画内容について意見交換等を実施し、住民の要望等を反映した計画策定を図る。																																						
5. 前回評価における指摘事項等 指摘事項 指摘事項への対応																																						
6. 事業の内容 事業概要及び推進状況 将来水質の予測計算、専門委員会の開催、関係市町村の意見聴取、河川管理者との協議、県環境審議会への諮問・答申、環境省への計画案提出、広報告示等の策定手続きを行う。大潟村幹線排水路における濁水除去試験、八郎湖におけるシジミの生育条件調査を行う。																																						
事業費等 単位(千円)																																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">内 訳</th> <th>当初計画事業費</th> <th>最終事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">第2期湖沼水質保全計画策定事業(平成24年度)</td> <td style="text-align: right;">18,565</td> <td style="text-align: right;">17,615</td> </tr> <tr> <td colspan="2">第2期湖沼水質保全計画策定事業(平成25年度)</td> <td style="text-align: right;">18,777</td> <td style="text-align: right;">16,937</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計</td> <td style="text-align: right;">37,342</td> <td style="text-align: right;">34,552</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国庫補助金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>県 債</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一 般 財 源</td> <td style="text-align: right;">37,342</td> <td style="text-align: right;">34,552</td> </tr> </tbody> </table>										内 訳		当初計画事業費	最終事業費	第2期湖沼水質保全計画策定事業(平成24年度)		18,565	17,615	第2期湖沼水質保全計画策定事業(平成25年度)		18,777	16,937	事業費計		37,342	34,552	財源内訳	国庫補助金			県 債			そ の 他			一 般 財 源	37,342	34,552
内 訳		当初計画事業費	最終事業費																																			
第2期湖沼水質保全計画策定事業(平成24年度)		18,565	17,615																																			
第2期湖沼水質保全計画策定事業(平成25年度)		18,777	16,937																																			
事業費計		37,342	34,552																																			
財源内訳	国庫補助金																																					
	県 債																																					
	そ の 他																																					
	一 般 財 源	37,342	34,552																																			
当初計画及び最終の事業費比較 最終事業費 / 当初計画事業費 =(0.92)																																						

7. 事業の効果及び課題の改善状況
 第2期計画では、第1期計画に基づく対策の実施状況を検証し、専門家の意見や住民、市町村等の要望を踏まえて、水質改善効果の高い新たな湖内水質対策の導入を図る。第1期計画の効果等を踏まえ、富栄養化の指標となっているCOD、窒素及びリンの濃度を引き下げ、住民の利水や親水域としての利用に支障が生じないようにするための対策を盛り込んだ第2期湖沼水質保全計画を、平成25年度に策定した。

8. 事業の効果을把握するための手法及び効果の見込み

指標名	八郎湖のCOD値(75%値)(年間)調整池								指標の種類
指標式	八郎湖のCOD値(75%値)(年間)調整池								成果指標 業績指標
年度別の目標値(見込まれる効果) 低減目標指標 該当 非該当									
指標	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	全体	
目標a				9.7	9.6	9.4	9		
実績b				7	7	9.2	7		
a/b				138.6%	137.1%	102.2%	128.6%		
データ等の出典	公共用水域水質測定結果								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 06月 翌々年度 月									

指標名	八郎湖のCOD値(75%値)(年間)西部承水路								指標の種類
指標式	八郎湖のCOD値(75%値)(年間)西部承水路								成果指標 業績指標
年度別の目標値(見込まれる効果) 低減目標指標 該当 非該当									
指標	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	全体	
目標a				10	9.8	9.4	9.4		
実績b				9.7	10	9.2	9.4		
a/b				103.1%	98%	102.2%	100%		
データ等の出典	公共用水域水質測定結果								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 06月 翌々年度 月									

指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来なかった理由
 成果(見込まれる効果)

所管課の評価				評価結果
有効性の観点	住民満足度の状況 a b c 【b又はcの場合の分析】			A B C
	事業の効果 適用の可否 可 不可 a 達成率100%以上 b 達成率80%以上100%未満 c 達成率80%未満 【b又はcの場合の理由】			
	事業の経済性の妥当性 適用の可否 可 不可 a 1.0~ b 0.8~1.0 c ~0.8 【評価への適用不可、又はb、cの場合の理由】			
効率性の観点	$\left[\frac{\text{当初計画時の効果}}{\text{事業終了後の効果}} \right] / \left[\frac{\text{最終事業費}}{\text{当初計画事業費}} \right] =$			評価結果 A 1.0~ B 0.8~ 1.0 C ~0.8
	A(妥当性が高い) B(概ね妥当である) C(妥当性が低い) 平成25年度事業終了			
総合評価	評価結果の類似事業への反映状況等(対応方針)			
	政策評価委員会意見			

終了事業事後評価判定点検表

(様式5-1)

(1) 各評価項目の判定基準

観点	評価項目	判定基準	配点	1次	2次	評価結果	
ア有効性	一 住民満足度等の状況	a 住民満足度等を的確に把握しており、満足度も高い	2	2		A:有効性は高い (4点) B:有効性はある (1~3点) C:有効性は低い (0点)	
		b 住民満足度等を把握しているが、手法が的確でない又は満足度が高くない	1				
		c 住民満足度等を把握していない	0				
	二 事業目的の達成状況	a 目標値に対する達成率が全て100%以上	2	2			
		b a、c 以外の場合	1				
		c 目標値に対する達成率のいずれかが80%未満	0				
計			4	4		A	
イ効率性	一 事業の経済性の妥当性	a 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値(注)が全て1.0以上	2	2		A:効率性は高い (2点) B:効率性はある (1点) C:効率性は低い (0点)	
		b a、c 以外の場合	1				
		c 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値のいずれかが0.8未満	0				
	計			2	2		A

(注) 事業経済性の算定式

$$\left(\frac{\text{当初計画時の効果}}{\text{事業終了後の効果}} \right) / \left(\frac{\text{最終事業費}}{\text{当初計画事業費}} \right)$$

上式で、効果とは事業の効果を把握するために設定した指標の実績値をいう。なお累積の実績値を設定している場合は、前年度からの差し引きによる「単年度増加分」を実績値として用います。

(2) 総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価	
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	A	
B (概ね妥当である)	総合評価結果が「A」又は「C」以外の場合		
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合		